

教育

大目標：医科大学として、多職種と連携できる視野の広い医師の育成に努め、世界の医療や社会を支える未来の医療人を輩出する。

※テーマをクリックいただきますと詳細をご確認いただけます。

テーマ	SDGs該当目標	2023年度実績
卒前教育における「多職種連携に必要な能力」に関わるカリキュラム	  	<ul style="list-style-type: none">■9月9日(土)に昭和薬科大学、東京純心大学との多職種連携教育セミナーを対面形式にて開催。以前より提携を模索していた田園調布学園大学社会福祉学部の参加は、セミナーのスケジュールや参加学生の人数等の問題で見送りとなった。■今年度の課題シナリオでは各学部毎に検討するシートを作成し、職種毎に特化した問題を検討をさせそれを共有するといったプロセスを試行した。■各大学の学生や指導教員からのアンケート結果は次年度に反映するべく、担当する部会、関係する委員会で審議していく。■本学看護専門学校生徒の参加については、東京純心大学看護学部の学生が参加していることもあり、慎重且つ継続的に検討を行っていく。
卒前における「学生同士の国際交流」に関わる活動	  	<ul style="list-style-type: none">■ラオス健康科学大学との大学間協定締結。 (2023年度：11大学、2030年度：20大学まで拡大)■SMU English Caféでの留学生の実習修了式および実習報告会の実施。■高神大学(韓国)とのオンラインセミナーの共同開催。■協定校への学生派遣 8名 (コンケン大学:タイ、高神大学：韓国、国立成功大学：台湾)■協定校からの留学生受入れ 15名 (コンケン大学：タイ、国立成功大学：台湾、朝鮮大学：韓国、同済大学：中国)■協定校以外の大学からの留学生受入れ 4名 (ペルアナカジェタノエレディア大学：ペルー、ソフィア医科大学：ブルガリア、ミュンヘン工科大学：ドイツ、トーマスジェファーソン大学：米国)

※テーマをクリックいただきますと詳細をご確認いただけます。

テーマ	SDGs該当目標	2023年度実績
未来の医療を創る“医療人2030”育成プロジェクト	    	<ul style="list-style-type: none"> ■本プロジェクトの登録者数は1950名。 ■生成系AIの医療領域での活用方法を学ぶ【Basic 医療×生成系AI活用講座】を全12回開催。 ■日本を代表する多彩な講師陣の講義と双方向のディスカッションからなる他に類例のない【Core 医療人2030育成プログラム】を全12回開催。 ■次世代の医療機器・アプリ、サービスについてのアイデアを具現化する【Empower 次世代医療を創る個別プログラムMIRAI】を20名が受講し、事業化に向けてそれぞれのビジネスプランのブラッシュアップを実施。 ■MIRAI卒業生が①川崎市および企業と連携し、新しい心臓リハビリモデルのトライアルを実施、②学外のピッチコンテストにて準グランプリを2名が獲得。
卒前教育に「グローバルな視点を養える」カリキュラムを確立する	    	<ul style="list-style-type: none"> ■2学年の実践医学コースにて、1コマの講義を実施。 ■2024年度以降は、選択科目において、すなわち1から3学年に向けて「途上国への医療支援」、「途上国の医療従事者に向けた教育支援」、「海外交流」をテーマとした講義を具体化するための討論を行ない、取り組むべき課題を抽出した。
持続開発可能なための教育(ESD)の実践	 	<ul style="list-style-type: none"> ■ESDを総合教育科目「医学教育」内で3回の授業として実施。 1回目はSDGsの歴史的背景、概要、本学における取り組みの紹介等について座学形式の講義を行った。2回目、3回目はそれぞれ「聖マリアンナ医科大学でSDGsに取り組むために必要なもの」、「SDGsについての教育プログラムを具体的に考える」をテーマとしたスモールグループディスカッションを行った。SDGsの具体的な実践の基盤を作るうえで、今後活かすことのできる有意義なディスカッションがなされた。